

3 歳児（さくら組）保育指導案

1 幼児の実態と保育者の願い（省略）

2 週のねらいと内容（10月28日～11月1日）

- 生活の中で必要な身の回りのことに気付き、自分で行おうとする。
- 友達や保育者と遊ぶ中で自分の思いを言葉で表現したり、相手の気持ちに気付いたりする。
 - ・ 生活の仕方が分かり、自分で気付いたことや、できることは自分からしようとする。
 - ・ 遊びの中で、自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを聞いたり知ったりする。
 - ・ 身近な秋の自然にふれて遊ぶ。

3 本日の指導計画

ねらい

- 保育者、友達や来客と自分の思いを言葉で伝え合いながら遊ぶことを楽しむ。
- 思いやイメージを自分なりに表現しながら遊ぶ。

時刻	予想される幼児の活動	援助と環境構成
9:10	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・色の組み合わせを考えながら塗り絵をする。 ・すきな絵を描いたり、色を塗ったりしてヘアゴム作りをする。 ○作ったヘアゴムや塗り絵を商品としてお店屋さんごっこをする。 ・友達や保育者と一緒に、来客に「いらっしゃいませ。」と声をかける。 ・店員になりきって作った商品を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○普段と違う雰囲気戸惑う幼児には寄り添い、一緒に遊んだり、不安な気持ちを受け止めたりする。 ○幼児が描いたり作ったりする過程を楽しめるように、よいところを伝えたり周りの友達に知らせたりしていく。 ○友達や来客との関わりを楽しみながら遊べるように、イメージを言葉にしたり伝える姿を見守ったりしていく。 ○遊びの中で困った様子があれば何に困っているかを聞いたり、どうしたらいいかを一緒に考えたりする。 ○幼児が楽しんで遊びに参加できるように誘い、友達が遊んでいる様子を伝えたり一緒に遊んだりしていく。
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ○次の日に遊びの続きができるように友達や保育者と相談しながら片付けをし、降園準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しかった気持ちに共感し、次に遊ぶ機会について伝えたり、片付けをしようとする姿を認めたりしながら、次に期待しながら場が整う気持ちよさを感じられるようにしていく。
評価	<p>（幼児の育ちを捉える視点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達や保育者、来客と自分の思いをどのような言葉で伝え合いながら遊ぶことができたか。 ○思いやイメージをどのように表現しながら遊ぶことができたか。 <p>（保育を振り返る視点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼児が、友達や保育者、来客に思いを伝え合いながら遊びを楽しめるような関わりや保育展開ができたか。 ○幼児が思いやイメージを自由に表現できるような環境構成や関わりができたか。 	